

稲作・麦作

平成25年度 稲作・麦作総合改善研修会を開催しました

本年度も米麦のさらなる安定生産・品質向上を図るため、3月3日(月)にホテルモントレエーデルホフ(札幌市)にて標記研修会を開催し、米麦共励会の表彰式をはじめ、米麦生産の優良事例発表および外部講師による特別講演を行いました。

米麦共励会の表彰式では、最優秀賞を受賞された4名の生産者の方々に北海道知事賞と北海道米麦改良協会会長賞を授与し、受賞者を代表して、稲作では阿部氏(剣淵町)、麦作では堀川氏(清里町)より日頃の良質米麦生産に向けた取組や経営状況などについて優良事例の発表を頂きました。

特別講演については、酪農学園大学の船津教授と北海道農政部の中島主幹からそれぞれ「食べ物と健康」・「地産地消に向けた取り組み」について講演をいただき、今後の良質米麦生産にあたって非常に参考となりました。

当日はまだまだ冬の寒さが残る厳しい天候でしたが、各地区の生産者・農協や関係機関・団体などから約170名の参加を頂き、有意義な研修会となりましたことをお礼申し上げます。



開会挨拶～長谷川会長



研修会の様子



受賞者の方々



特別講演～船津教授